
帯人の憂鬱

魅羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

帶人の憂鬱

【Zコード】

Z9252Z

【作者名】

魅羅

【あらすじ】

VOCALOIDの『KAITO』とその姉妹、『帶人』のBL短編です。

KAITOが帶人のお兄ちゃんということでお話は進んでいきます。帶人はマスターが好きで好きでたまらないけど、カイトがそれを邪魔してきて……！？ ちょい病みはいつてます；；

小さい頃は何をしても構つてもらえた。

歌うことしかできない俺だつて頑張つたんだ。

でもマスター、どうしてカイトばつか構うんですか？ どうして俺は見てくれないんですか？

愛します、愛しますから……マイマスター。

「もう少しだけ……！ また帶人怪我してるの？」

「ごめんなさい、マスター……」

「いいのよ、帶人。でも包帯が上手く巻けないのは勘弁ね……」

温かい手、体温。

何もできない俺を見てくれる俺だけのマスター。

何回練習しても上手くならない包帯の巻き方。

マスターのすべてが愛しいんだ。

「ねえマスター……」この音教えて一つ

「いいわよカイト、ここはソのシャープ……難しいと思つけど、カ

イトならきっとできるわ。……ねえ帶人、つてあれ？」

「帶人、どうか行つちゃつたあ……？」

ああ、カイト……なんでいつもいつも邪魔してくるんだ。それも毎回のようだ。

自傷行為をしたら、少しだけだけビマスターは必ず僕の方を見てくれる。

年下のカイトの方がマスターにとつては優先だつてわかってるのに。わかってるのに、抑えられない衝動。

カイトがいなければ僕の方がかまつてもらえるのではないかという疑問。

その結論はどうしてもカイトを『消す』という選択肢になってしま

つて。

カイトを殺してしまえば自分の思い通りになるのではないか?

そうだ。あんな奴殺してしまえばいいんだ。

マスターだつてあんな手のかかるやつ、邪魔だつて……思つて……。

「帶人……」

「何? カイト」

そんなことを考えていると、カイトがやつてきた。

「帶人つて……好きな人つているの?」

「決まつてるじゃん」

……マスターのことが大好きだ。愛してるんだ。

「いないよ

言えるわけがなかつた。今の俺には。

「よかつたつ……!」

『帶人がマスターのこと、好きじゃなくて』 つてか?

「じゃあ、僕にもチャンスはあるよね』

「!?」

カイトは小さな手で俺を引っ張つた。

その先にはカイトの小さな唇があつた。

子供がするような口と口だけでするキス。

「な、なにすつ……!」

俺は今、とてつもなく顔が赤くなつていろと思つ。

なんで? なんでなんだ?

「僕が好きなのは帶人つてこと。わざと質問したりしたのは……や

つぱり恥ずかしいから言わねつ!』

そう言つと、思い切りカイトはどつかへ走つていつた。

俺はマスターが好きなんだ。

じゃあこの体の火照りはなんなんだ?

思いが浮かんでは消えていく。

こんな思いをさせるなんて……

カイトの馬鹿野郎ツ!!

(後書き)

読んでくださいありがとうございます(*、*、*)

こんな駄作を……！

これが処女作となるわけですが、『なんもすることができない』と
かお暇な時に遊びに来てくれる嬉しいです……w
ではまた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9252n/>

帯人の憂鬱

2010年10月10日20時00分発行